



がっこう 学校だより

がっこう
5月号



**Challenge
Dream
Interaction**

平成31年4月26日
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

令和元年、読書のススメ

がっこうちょう 学校長
よこやま よしあき 横山 美明

新しい年度が始まり3週間がたちました。毎日教室を回って担任の先生と子どもたちの様子を
見ていると、少しずつ新しい学年、新しいクラスの雰囲気が出てきています。どの子にも気持ち
も新たに頑張ろうという意欲が見られます。この4月当初の意欲を大切に育てていきたいものです。

「人は読んだ本の分だけ、高くなれる」

この言葉は、脳科学者の茂木健一郎さん著書「『赤毛のアン』が教えてくれた大切なこと」(PHP)
の中に書かれている言葉です。その意味は、自分がこれまでの読んだ本を積み上げた分だけの高さから
世の中を見渡すことができる、つまり読んだ本の分だけ自分の世界が広がるということです。この言
葉は私も好きな言葉です。22日の朝会で4月23日の「子ども読書の日」にちなんで、子ども達にも
この話をしました。

昨年度の学校評価を見てみますと、子ども達のアンケートでは、ほとんどの子どもが図書ボランティ
アによる朝の読み聞かせに楽しさを感じており(95%)、本を読むのが好き(75%)という結果が出
ています。保護者のアンケートからも「読書に親しむ姿が見られる」が70%と前年度よりも7ポイン
ト伸びており、上飯田小学校では読書好きの子どもたちが増えてきていると言えます。さらに本好き
の子どもを増やすために、「家読」を進めてほしいと思います。家でも本を読む習慣をつけることが
読書好きの子どもを増やすことにつながります。子どもが小さい頃は就寝前に読み聞かせをしていた
ご家庭も多いと思いますが、小学生では自分で本を読む習慣をつけることも大切です。以前の学校
で図書ボランティアの方たちに「家読」の習慣をつけるためにはどうしたらよいかを一緒に考えて
いただいたことがあります。毎週、子どもと一緒に図書館に行く機会を作ったり、図書館でわが子が
好きそうな本を借りてきて家に展示スペースを作ったり、親子読書をしたりと様々な工夫が出されま
した。他にも親子で同じ本を読んで、アニメーションのように本の内容についてのクイズを出し合い、
親子の会話のきっかけを作るというようなものもありました。何につけても、たくさんの本を読むこと
は知識が増えるだけでなく、自分の視野や世界も広がります。

令和元年の始まり、GWは読書でスタートしてみたいはいかがでしょうか？